

# GREX揚油用添加剤運用基本マニュアル

現場の仕組みで、運用方法も変わりますので、お気軽にご相談ください。  
例：フライヤーが複数、外部タンク、大型フライヤー、油の荷姿が一斗缶以外、など



事前（最低24時間前）にGREX揚油用添加剤を食用油18L（16.5kg）当たり50ml（46g）を計って、用意された油に混合して「GREX事前混合新油」を作ってください。

GREX揚油用添加剤を菜箸などの長いものでかき混ぜながらユックリ入れて、缶上部でGREXを散らすように混合してください。在庫の油全部に事前に混合してしまうと効果も作業もベストです。手をケガさないよう注意して作業してください。油の容量が少なく口が小さい場合は、単純に添加して蓋をしてからよく振ってください。

GREX揚油用添加剤を油に事前に混合した後、異物が混入しないよう缶上部にラップやブリキ蓋をかぶせて保管してください。

1. 油の交換時から使用開始する場合、廃油後フライヤーの掃除が終了後、事前に作っておいたGREX混合新油をフライヤーに入れ、設定温度を10℃下げてください。

2. 廃油が無い事業所の場合、通常通り油とフライヤーの掃除を行い、掃除終了後、フライヤーに揚油を戻してから、事前に作っておいたGREX混合新油を足し油してフライヤー内の揚油前提に混ざるように攪拌してから帰ってください。翌日から通常通り使用開始していただき、設定温度の変更は、足し油量がフライヤー油量を超えた時点で5℃下げ、揚げ具合を見ながら徐々に10度まで下げて使用してください。



## 【データ収集】

試験表を作成して、必要事項を記入しましょう。特に、開始時在庫、仕入れ数、終了時在庫は、忘れずに記載ください。



営業時間終了後、通常通り油とフライヤーの掃除を行ってください。掃除終了後、油をフライヤーに戻し、GREX揚油用添加剤新油を定量まで必ず足し油し、菜箸などで火傷しないようユックリと攪拌して良く混合してください。それにより、翌日までに油がリフレッシュします。また、オートフライヤーの場合は、空回ししても良く混合できます。

